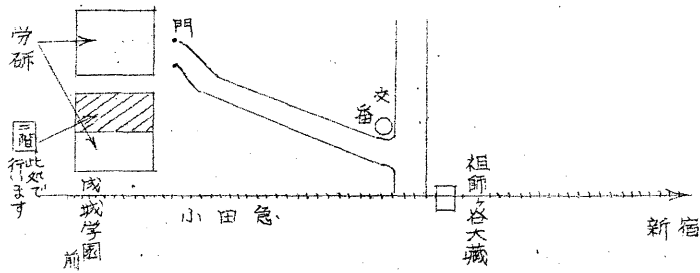


講 究 会

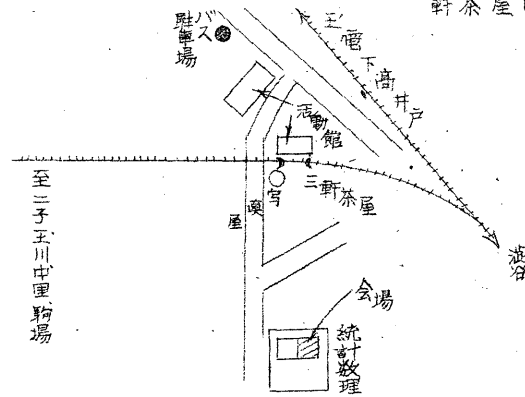
(イ) 次 第

今まで水曜日の午後行って居りました饗宴を講究会の形で二月から新に始めました。

- 期 日 毎週水曜日午後一時半から
- 題 目 月の第一週は第一部主催(主として統計の基礎理論関係)
 月の第二週は第三部主催(主として社会科学方面に於ける統計数理)
 月の第三週は第二部主催(主として自然科学方面に於ける統計数理)
 第四週以下は随時いろいろな題目について行ひます)
- 会 場 第一部・第二部関係の時は祖師ヶ谷研究室(世田谷区祖師ヶ谷二丁目労働科学研究所内)



第三部関係の時は三軒茶屋研究室(世田谷区三軒茶屋町一〇)



(口) □[二月の講究会記録]□

2月1日

- 分布函数について 高野金作(第一部)
分布函数 $F(x)$ の逆函数をつくり此について分布函数の
基本定理をのべたもの

2月8日

- 最近の「サンプリング」の諸問題 水野坦(第三部)
「サンプリング企画の Model 的なもの(放送局委組調
査、シマウパ勧告のための調査)」について「サンプリング」
の理論と実際とを自己の体験から語つたもの

2月15日

- 体温のリズムについて 崎野滋樹(第二部)
生体のリズム現象の一つとして体温をとりあげ乳幼児に
ついての体温現象を統計数理的に解析し、体質の問題に
もその思考を利用しようとしたもの

2月22日

- 八丈島言語調査の統計数理 丸山文行(第三部)
八丈島言語調査に於て問題となつた「共通語を話す度合
を決定する要因をみつけること」に対する統計数理的方
面よりの寄與をのべたもの、内容は
1. 調査するまで
 2. 度合の表現法
 3. 居住経歴の表現法とその影響度の発見
 4. 要因はなにかの発見法
 5. 結論
- よりなる。